◀ 巻 頭 言 ▶

コンティンジェンシープラン

専務理事　狭　間　満　雄

新型コロナウイルスによる感染拡大を防止するための初めての緊急事態宣言が 4 月 7 日に発出されたが、当初 5 月 6 日までだった期間が 5 月 31 日まで延長されることになった。密閉、密集、密接の三蜜を避ける自粛生活が続く中、本稿を執筆している。

「原因不明の肺炎」は昨年 12 月、中国・武漢市で確認された。2 月には横浜市に接岸した大型クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号で集団感染が発生した。船内を「隔離」した上で自衛隊も投入して防疫に努めたが、感染拡大を止めることはできなかった。

クルーズ船の安全基準の課題として、専門家によると、船舶の構造上、船内での対処には限界があるとして、「船舶の安全基準でも、疾病・感染症との関係では安全性の高くない設計を許していた可能性はある」、「メディカルセンターの体制についても通常は良くても、感染症が流行したときにそれをバックアップする人的な用意や、あるいはメディカルセンターを補完する部屋を確保できるのかなど、船自身のエマージェンシーアクションプラン（緊急対応計画）が十分なものだったのか、問われるべきかもしれない」、「規模があまりにも大きく船舶だけで対応できないことは明らかだが、基本は船舶の中で疾病をできるだけ防止し、乗客に対して必要最小限の医療を施すということはクルーズ船である以上、要求される条件だと思う。そういう意味では今後、大型クルーズ船における設備あるいは安全基準というものについても大きな示唆を与える事態だった」と検証されている。

我々を取り巻く一般商船からは、幸いにもまだコロナウイルス感染の報告はされていない。商船では日常的にコンティンジェンシープラン（緊急時対応計画）に基づき、各種操練を実施している。その代表的なものとして、火災操練（Fire station drill）がある。

船内消火作業の実施順序を火災という FIRE の語句のイニシアルの順序に従って実施している。FIND（見つける）：火災の種類と場所を探知、船体図に記入する。INFORM（知らせる）：火災発生を乗員に知らせる。RESTRICT（局限する―延焼を防止し被害を抑制する）、最後に EXTINGUISH（消火する）という順序である。

残念ながら新型コロナウイルスの感染は世界的な大流行となってしまった。FIRE に重ねたとき、（見つける）：感染者の発見には PCR 検査が必要だが、感染の疑いを抱いている人への PCR 検査体制は完全か、（知らせる）：陽性率を正しく公表できているか、（局限する）：感染者の隔離体制（受入体制）は十分か、（消火する）：ワクチン・治療薬の備えはどうか。これらはいずれ検証されることになると思われるが、すべての災害の対応は、基本的な 3 項目のケースバイケースの実施が要求される。第一は人命救助であり、第二は被害の拡大の阻止であり、第三は災害の収束である。

本稿がホームページに掲載される頃には、緊急事態宣言が解除されているかもしれないが、感染拡大の第 2 波の発生に備えた、しっかりとしたコンティンジェンシープランも策定されていなければならない。感染拡大の収束には 1 ～2 年を要すとも言われている。

通常の生活に戻れるように、一日も早いワクチン、治療薬の開発が待たれる。

狭間専務理事